

参考資料

※医師票及び看護職票は実際のWEB調査画面とは異なる

医師票回答者選定条件

病院：貴施設に2年以上勤務し、当直・夜勤を行っている、フルタイム勤務の正規職員である医師（病院長その他の管理職及び研修医は除く。）
診療所：貴施設に2年以上勤務し、フルタイム勤務の正規職員である医師（病院長その他の管理職及び研修医は除く。）

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1つ選択)

- 1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(1つ選択)

- 1. 女性 2. 男性

問 3. あなたの臨床医としてのキャリア(通算経験年数)を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。(1つ選択)

1. 1年未満	3. 3年未満	5. 10年未満	7. 20年以上
2. 2年未満	4. 5年未満	6. 20年未満	

問 4. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めず回答してください。

() 年

問 5. あなたが主に専門としている診療科(最も時間を費やしている診療科)を教えてください。(1つ選択)

1. 内科	6. 小児科	11. 耳鼻いんこう科	16. 救急科
2. 外科	7. 精神科	12. 産科・婦人科・産婦人科	17. その他()
3. 皮膚科	8. 泌尿器科	13. 放射線科	
4. アレルギー科	9. 整形外科・リハビリ科	14. 麻酔科	
5. リウマチ科	10. 眼科	15. 病理診断科・臨床検査科	

問 6. あなたが勤務している医療機関はどちらですか。(1つ選択)

- 1. 病院 2. 診療所

問 7. あなたの勤務している医療機関の所在地を教えてください。(1つ選択)

※都道府県名 プルダウン

問 8. あなたの勤務している医療機関がある市町村(特別区の場合は区)の規模を教えてください。(1つ選択)

- 1. 人口 50 万人以上の市(区)(政令指定都市等)
- 2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市(区)(中核市等)
- 3. 人口 10 万人以上 20 万人未満の市(区)
- 4. 人口 10 万人未満の市(区)
- 5. 町村

問 9. 貴医療機関の開設主体を教えてください。(1つ選択)

- 1. 国等(厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
- 2. 地方公共団体等(都道府県、市町村、地方独立行政法人)
- 3. 公的医療機関(田赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
- 4. 社会保険関係団体(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
- 5. 医療法人
- 6. 個人
- 7. その他(公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 10. 貴医療機関の許可病床数を教えてください。(1つ選択)

1. 19 床以下	3. 100-199 床	5. 300-399 床	7. 500 床以上
2. 20-99 床	4. 200-299 床	6. 400-499 床	

問 11. 貴医療機関の最も多い病床を教えてください。(1つ選択)

1. 一般病床	3. 感染症病床	5. 療養病床
2. 精神病床	4. 結核病床	

(診療所は問 12へ)

問 11-1. 貴院の病床機能を教えてください。(いくつでも)

1. 高度急性期	2. 急性期	3. 回復期	4. 慢性期
----------	--------	--------	--------

問 11-2. 貴院における最も多い病床を有する医療機能を教えてください。同数の場合は複数選択(いくつでも)

1. 高度急性期	2. 急性期	3. 回復期	4. 慢性期
----------	--------	--------	--------

<労働時間について伺います>

問 12.貴医療機関の就業規則等で定められた医師（あなた）の1週間の所定労働時間数（変形労働時間制の場合は、単位期間における過当たりの平均労働時間数）は何時間ですか。（平成 29 年 6 月時点）（数字を記入）

1. 週間の週所定労働時間 () 時間 () 分

アラート文：
病歴・診療所の就業規則や雇用契約書に記載されている労働時間です。なお、法定労働時間は1週間40時間以上を超えて、それを超えることはありません。

問 13. あなたはこれまで1週間の所定労働時間数をご存じでしたか。（1つ選択）

- 1. 知っていた
- 2. 知らなかった

問 14. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じですか。（1つ選択）

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問 15. あなたは職場の労働時間の管理方法を教えてください。（1つ選択）

- 1. タイムレコーダー・タイムカード
- 2. ICカード
- 3. 出勤簿・管理簿
- 4. その他 ()
- 5. 労働時間を管理していない

問 16.あなたは平成 29 年 6 月の 1 か月間に時間外労働（所定労働時間を超えて勤務した時間。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く。）をしましたか。（1つ選択）

- 1. 時間外労働をした⇒問 16-1 へ
- 2. 時間外労働をしていない ⇒問 17 へ
- 3. わからない ⇒問 18 へ

		平成 29 年 6 月												
日		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
4		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		

問 16-1. あなたは平成 29 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数（所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く。）を教えてください。

おおよそ () 時間 () 分

問 16-2. あなたは平成 29 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申請しなかったおおよその時間を教えてください。

問 16 の時間表示 うち、おおよそ () 時間 () 分を申告していない

アラート文：
問 16 の時間外労働時間以外の数字をご記入ください。

問 16-3. あなたは平成 29 年 6 月の 1 か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。（いくつでも）

- 1. 緊急対応
- 2. 手術や外来対応等の延長
- 3. 記録・報告書作成や書類の整理
- 4. 会議・勉強会・研修会等への参加
- 5. 他職種・他機関との連絡調整
- 6. 勤務開始前の準備
- 7. その他（具体的に：)

問 17.あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働カード・ICカードで管理されている場合は、1 を選外労働時間がタイムレコーダー・タイムカード・ICカードで管理されている場合は、1 を選択してください。（1つ選択）

- 1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 17-2 へ
- 2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 17-1 へ

問 17-1.あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。（いくつでも）

- 1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
- 2. 残業と認められない業務だから
- 3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
- 4. 自分の都合や、自分のごだわりのために残業をしたから
- 5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかるから
- 6. 申告するのが面倒だから
- 7. 申告するのを忘れてしまっから
- 8. 申告の方法を知らないから
- 9. 時間外労働時間が短かったから
- 10. 年俸制だから
- 11. その他 ()

問 17-2.あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。(1つ選択)

- 1. タイムレコーダー・タイムカード・IC カードの記録のとおり支払われている (制限なし)
- 2. 自己申告した時間どおりに支払われている (制限なし)
- 3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
- 4. 上司が時間外労働を認めたととき以外は支払われていない
- 5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
- 6. 時間外労働時間については支払われていない
- 7. その他 ()
- 8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 18. あなたの平成 29 年 6 月の①所定休日数 (※1) 及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を記入)

日	平成 29 年 6 月						
	日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

回答しやすいよう平成 29 年 6 月のカレンダーを表示。

※1: 所定休日数とは病院、診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日数 1. () 日 2. わからない
- ②実際に業務を休んだ日数 () 日

問 19. あなたの平成 28 年度の①年次有給休暇の付与日数 (※2) と②取得日数を教えてください。(数字を記入)

※2: 年次有給休暇の付与日数とは、1 年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
- ②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

回答しやすいよう、参考として、下記、継続勤務年数と付与日数を表示。

【一般の労働者の場合の例】

継続勤務年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

(病院のみ回答。診療所は問 23 へ)

<当直・夜勤等について伺います>

問 20. 平成 29 年 6 月の当直 (①宿直・②日直)・③夜勤 (※3) (交代制勤務の下で夜間に行った勤務)・④オンコールの当番回数を教えてください。①②③④それぞれについて、該当がない場合には「0 (ゼロ)」と回答してください。(数字を記入)

① 宿直	回	③夜勤	回
② 日直	回	④オンコール	回

アラート文、6 月の実施した回数です。30 回を超えることはありません。

※3: 夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直 (電話の対応や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと) とは異なる。

(問 20 で①に 1 以上の数値を入力した場合にのみ問 20-1~2 を表示)

問 20 で平成 29 年 6 月に宿直を行った方に伺います。

問 20-1. 貴院で決められている①宿直 1 回あたりの平均拘束時間数と②平成 29 年 6 月の宿直 1 回あたりの平均実労働時間数 (患者対応など通常勤務時と同様の業務を行った時間数) を教えてください。(数字を記入)

- ①貴院の宿直平均拘束時間数 () 時間 () 分
- ②宿直平均実労働時間数 () 時間 () 分

問 20-2. 宿直明けの勤務について、どのような勤務割になっていますか。(1つ選択)

- 1. 通常勤務で、業務内容の軽減はない
- 2. 通常勤務であるが、業務内容は軽減される
- 3. 短時間勤務で、業務内容の軽減はない
- 4. 短時間勤務で、業務内容も軽減される
- 5. 勤務なし (休み)
- 6. その他 ()
- 7. 日によって異なる (具体的に:)
- 8. わからない

問 21. あなたの平成 29 年 6 月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間 (職場に最も長くいた時間) について伺います。①当直 (宿直・日直) 時間を含む、勤務割上 (※4) の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数 (休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む) を教えてください。(数字を記入)

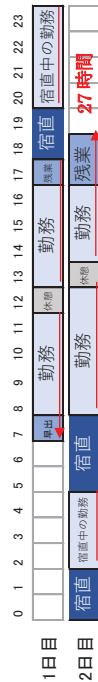
- ①当直 (宿直・日直) 時間を含む最長拘束時間 約 () 時間 () 分
- ②①の実際の労働時間 (休憩を除く、宿直・日直時における勤務時間を含む) 約 () 時間 () 分

①最長拘束時間の例: 33時間



②①における実際の労働時間の例: 27時間

(勤務時間に宿直で実際に休んだ時間と実際の休憩を除き、残業を加えた時間)

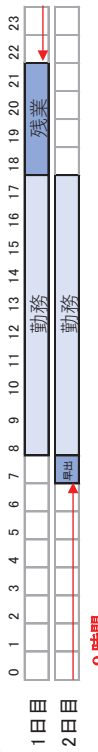


※4: シフト表上や勤務時間表上のこと。

問 22. あなたの平成 29 年 6 月のある勤務日の勤務 (時間外労働を含む。) の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①平成 29 年 6 月の勤務割上の最長時間と②実際の最長時間を教えてください。(数字を記入)

- ①勤務割上の最長時間 約 () 時間 () 分
- ②実際の最長時間 約 () 時間 () 分

②実際の勤務の終了から開始までの最長時間の例: 9時間



問 22-1. あなたは、問 22 で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか。(1つ選択)

- 1. ししばある
- 2. ときどきある
- 3. めったにない

(診療所はここから再開)

<勤務環境等について伺います>

問 23. あなたは、今の勤務環境にどの程度満足していますか。(1つ選択)

- 1. 満足
- 2. どちらかという満足
- 3. どちらかという不満
- 4. 不満

問 24. 問 23 について、あなたがそう思う理由を教えてください。

()

問 25. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1つ選択)

- 1. 健康である
- 2. どちらかという健康である
- 3. どちらかという健康ではない
- 4. 健康でない

問 26. あなたは平成 28 年度に健康診断を受診しましたか。(1つ選択)

- 1. 受診した
- 2. 受診しなかった

問 27. あなたは平成 28 年度にインフルエンザワクチンを接種しましたか。(1つ選択)

- 1. 接種した
- 2. 接種しなかった

問 28. あなたのこの1か月間の睡眠の状況について教えてください。(1つ選択)

- 1. 睡眠は十分にとれていた
- 2. 睡眠は比較的とれていた
- 3. 睡眠はあまりとれていなかった
- 4. 睡眠は不足していた

※診療所勤務医はここで終了です。※問 29・問 30 (は病院勤務者のみ

問 29.以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(いくつでも)

問 30.問 29 の取組の中で、あなたの職場で取り組んでほしいと思う項目を教えてください。(いくつでも)

I 働き方・休み改善

- 1) 労働時間管理
 1. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる
 2. 1. 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる
 3. 年次有給休暇をばじめとする休暇の取得を促進している
 4. 夜勤負担の軽減 (夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数の制限、仮眠時間の確保等) を行っている
 5. 夜勤専従者への配慮 (夜勤の時間・回数の制限等) を行っている
 6. 夜勤・交代勤務の勤務間隔を適切に管理している
 7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている
 8. 勤務間インターバル制度(※5)を導入している

※5: 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

2) 勤務負担軽減

9. 補助職 (医師事務作業補助者、看護補助者等) を配置している
10. 正職員について多様な勤務形態 (短時間勤務、短日勤務、交代勤務、フレックスタイム制など) を活用している
11. 当直 (宿直・日直) 明けの勤務者に対する配慮を行っている (連続当直を行わない、当直明けに日直を入れれない等)
12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している
13. チーム医療や多職種連携 (業務分担、連携の強化等) により負担軽減を図っている
14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
15. 勤務ソフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
16. その他の情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している
17. 専集・採用を強化するための取組を実施している
18. 地域の医療機関との連携 (オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等) を推進している

II 職員の健康支援

19. 職員に健康診断を受診するよう働きかけている
20. 健康診断の事後措置 (医療上の措置、就業上の措置、保健指導等) を実施している
21. 職員の健康教育や身体的健康対策 (生活習慣病対策等) に取り組んでいる
22. 職員のメンタルヘルス教育研修を実施している
23. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている
24. 長時間労働者に対する面接指導を実施している
25. 職業感染 (結核・インフルエンザ等) 呼吸器感染、HBV/HCV/HIV の検出し切創対策、ワクチン等) に取り組んでいる

26. 有害化学物質 (抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等) のばく露予防に取り組んでいる
27. 作業管理・作業環境対策 (腰痛対策や眼精疲労対策等) に取り組んでいる
28. 衛生委員会を設置し、毎月 1 回以上開催している
29. 産業医を選任し、職員に周知している
30. 衛生管理者 (常時使用する職員が 10 名以上 50 人未満の場合は衛生推進者) を選任し、職員に周知している

III 働きやすさ確保のための環境整備

- 1) 仕事と子育て・介護等の両立支援
 31. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている
 32. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度 (男性職員・女性職員ともに対象) を導入している
 33. 院内保育所や提携保育所等を整備している
 34. 保育サービス (病児保育や夜間預かり保育等) を実施している
 35. 院内や近隣に学童保育を整備している
 36. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている
 37. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している
 38. 介護短時間勤務制度を導入している
 39. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度 (男性職員・女性職員ともに対象) を導入している
 40. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除 (男性職員・女性職員ともに対象) を実施している
41. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度 (短時間正職員制度、フレックスタイム制度、裁量労働制等、男性職員・女性職員ともに対象) を整備している
42. 保育・介護サービス利用料の補助制度 (男性職員・女性職員ともに対象) を実施している
43. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている
44. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている
45. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組 (男性職員・女性職員ともに対象) を実施している

2) 職員のいじめ・ハラスメント等対策

46. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している
47. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている

3) 風土・環境整備

48. 職員の働く満足度の調査を行っている
49. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している
50. 院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している (職員旅行、イベント等)
51. 職員の地域活動への支援 (ボランティア活動支援等) を実施している

4) 人材の定着化

- 52. 定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている
- 53. 複数主治医制を採用している

IV 働きがいの向上

- 1) キャリア形成支援
 - 54. 施設外の研修への参加を支援している
 - 55. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている
 - 56. 正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援 (研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と面立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等) が実施されている
- 57. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の観点から適切に実施されている
- 58. 専門資格の取得を支援する制度を設けている
- 2) 休業後のキャリア形成支援
 - 59. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援 (業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等) を行っている
 - 60. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている
 - 61. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援 (e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等) を行っている

V. その他

- 62. 患者満足度の調査を行っている
- 63. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている
- 64. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる
- 65. 医師に対し、医師賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている
- 66. その他 ()
- 67. 該当するものがない

以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

看護職員回答者選定条件

病院：貴施設に勤務し、夜勤を行っている、フルタイム勤務の正規職員である看護職 (一般的な病棟配属者を対象とし、看護部長、看護職長などの管理職は除く。)

診療所：貴施設に勤務し、フルタイム勤務の正規職員で、夜勤を行っている看護職 (一般的な病棟配属者を対象とし、看護部長、看護職長などの管理職は除く。)

問 1. あなたの年齢を教えてください。(1 つ選択)

- 1. 20 代
- 2. 30 代
- 3. 40 代
- 4. 50 代
- 5. 60 代以上

問 2. あなたの性別を教えてください。(1 つ選択)

- 1. 女性
- 2. 男性

問 3. あなたの看護職としてのキャリア (通算経験年数) を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間を含めず、回答してください。(1 つ選択)

1. 1 年未満	3. 3 年未満	5. 10 年未満	7. 20 年以上
2. 2 年未満	4. 5 年未満	6. 20 年未満	

問 4. 現医療機関における、あなたの勤務年数を教えてください。なお、休職をした場合は、その期間は含めず、回答してください。また、現医療機関を一度辞めている場合は、辞める前の勤務年数は含めず回答してください。

() 年

問 5. あなたが勤務している医療機関はどちらですか。(1 つ選択)

- 1. 病院
- 2. 診療所

問 6. あなたの勤務している医療機関の所在地を教えてください。(1 つ選択)

※都道府県名 プリダウ

問 7. あなたの勤務している医療機関がある市町村 (特別区の場合は区) の規模を教えてください。(1 つ選択)

- 1. 人口 50 万人以上の市 (区) (政令指定都市等)
- 2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市 (区) (中核市等)
- 3. 人口 10 万人以上 20 万人未満の市 (区)
- 4. 人口 10 万人未満の市 (区)
- 5. 町村

問 8. 貴医療機関の開設主体を教えてください。(1 つ選択)

1. 国等 (厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等 (都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関 (白赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体 (健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他 (公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 9. 貴医療機関の許可病床数を教えてください。(1 つ選択)

1. 19 床以下	3. 100-199 床	5. 300-399 床	7. 500 床以上
2. 20-99 床	4. 200-299 床	6. 400-499 床	

問 10. 貴医療機関の最も多い病床を教えてください。(1 つ選択)

1. 一般病床	3. 感染症病床	5. 療養病床
2. 精神病床	4. 結核病床	

(診療所は問 11 へ)

問 10-1. 貴院の病床機能を教えてください。(いくつでも)

1. 高度急性期	2. 急性期	3. 回復期	4. 慢性期
----------	--------	--------	--------

問 10-2. 貴院における最も多い病床を有する医療機能を教えてください。同数の場合は複数選択(いくつでも)

1. 高度急性期	2. 急性期	3. 回復期	4. 慢性期
----------	--------	--------	--------

<労働時間について伺います>

問 11. 貴医療機関の就業規則等で定められた看護職 (あなた) の 1 週間の所定労働時間数 (変形労働時間制の場合は、単位期間における過当たりの平均労働時間数) は何時間ですか。(平成 29 年 6 月時点) (数字を記入)

1 週間の週所定労働時間 () 時間 () 分

アラート文: 病院・診療所の就業規則や雇用契約書に記載されている労働時間です。なお、法定労働時間は 1 週間 40 時間以上限るので、それを超えることはありません。

問 12. あなたはこれまで 1 週間の所定労働時間数を存じていたか。(1 つ選択)

1. 知っていた
2. 知らなかった

問 13. あなたは貴医療機関の就業規則等に記載されている時間外労働時間に関する規程をご存じますか。(1 つ選択)

1. 知っている
2. 知らない

問 14. あなたは職場の労働時間の管理方法を教えてください。(1 つ選択)

1. タイムレコーダー・タイムカード
2. IC カード
3. 出勤簿・管理簿
4. その他 ()
5. 労働時間を管理していない

問 15. あなたは平成 29 年 6 月の 1 か月間に時間外労働 (所定労働時間を超えて勤務した時間。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く。) をしましたか。(1 つ選択)

1. 時間外労働をした⇒問 15-1 へ

2. 時間外労働をしていない ⇒問 16 へ

3. わからない ⇒問 17 へ

平成 29 年 6 月		日	月	火	水	木	金	土
		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	

問 15-1. あなたは平成 29 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数 (所定労働時間を超えて勤務した時間数。残業中の休憩時間など労働していない時間は除く。) を教えてください。

おおよそ () 時間 () 分

問 15-2. あなたは平成 29 年 6 月の 1 か月間のおおよその時間外労働時間数のうち、時間外労働と申請しなかったおおよその時間を教えてください。

問 15 の時間表示 うち、おおよそ () 時間 () 分を申告していない

アラート文: 問 15 の時間外労働時間以内の数字をご記入ください。

問 15-3.あなたの平成 29 年 6 月の 1 か月間の時間外労働の主な理由を教えてください。(いくつでも)

1. 緊急対応
2. 手術や外来対応等の延長
3. 記録・報告書作成や書類の整理
4. 会議・勉強会・研修会等への参加
5. 他職種・他機関との連絡調整
6. 勤務開始前の準備
7. その他 (具体的に:)

問 16.あなたは、普段、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告していますか。なお、時間外労働時間がタイムレコーダー・タイムカード・ICカードで管理されている場合は、1 を選択してください。(1 つ選択)

1. 時間外労働時間どおり申告している ⇒問 16-2 へ
2. 時間外労働時間どおり申告していない ⇒問 16-1 へ

問 16-1.あなたが、時間外労働時間を時間外労働時間どおり申告しない理由を教えてください。(いくつでも)

1. 職場に残業を申告しづらい雰囲気があるから
2. 残業と認められない業務だから
3. 申告できる残業時間の上限が決められているから
4. 自分の都合や、自分のごだわりのために残業をしたから
5. 仕事が未熟でほかの人より時間がかかるから
6. 申告するのが面倒だから
7. 申告するのを忘れてしまうから
8. 申告の方法を知らないから
9. 時間外労働時間が短かったから
10. 年俸制だから
11. その他 ()

問 16-2.あなたが申告した時間外労働時間に対し、時間外労働手当は支払われていますか。(1 つ選択)

1. タイムレコーダー・タイムカード・ICカードの記録のとおり支払われている (制限なし)
2. 自己申告した時間どおりに支払われている (制限なし)
3. 上限時間が決められており、それを上回る時間については支払われていない
4. 上司が時間外労働を認めたとき以外は支払われていない
5. 年俸制であり時間外労働手当が含まれている
6. 時間外労働時間については支払われていない
7. その他 ()
8. わからない

<休日・休暇について伺います>

問 17. あなたの平成 29 年 6 月の週休形態を教えてください。(1 つ選択)

1. 完全週休 2 日制 (1 週に必ず 2 休)
2. 4 週 8 休制
3. 月 3 回週休 2 日制 (4 週 7 休制含む)
4. 月 2 回週休 2 日制 (4 週 6 休制含む)
5. 月 1 回週休 2 日制 (4 週 5 休制含む)
6. 週休 1 日半制 (土曜日等の半日制)
7. 週休 1 日制 (4 週 4 休)
8. その他 ()

問 18. あなたの平成 29 年 6 月の①所定休日数 (※1) 及び②実際に業務を休んだ日数を教えてください。(数字を記入)

回答しやすいよう平成 29 年 6 月のカレンダーを表示。

※1: 所定休日数とは病院・診療所が就業規則等で定めた休日のこと。

- ①所定休日数 1. () 日 2. わからない
- ②実際に業務を休んだ日数 () 日

平成 29 年 6 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

問 19. あなたの平成 28 年度の①年次有給休暇の付与日数 (※2) と②取得日数を教えてください。(数字を記入)

※2:年次有給休暇の付与日数とは、1 年ごとに雇用主から新たに付与された有給休暇の日数のことで、前年度からの繰越分を含めない。

- ①あなたに付与された年次有給休暇日数 1. () 日 2. わからない
- ②あなたが取得した年次有給休暇日数 () 日

回答しやすいよう、参考として、下記、継続勤務年数と付与日数を表示。

【一般の労働者の場合の例】

継続勤務年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

＜夜勤等の勤務状況について伺います＞

問 20. あなたの自身の主な勤務形態を教えてください。(1つ選択)

- 1. 3交代制 (変則含む) (※3)
- 2. 2交代制 (変則含む) (※3)
- 3. 夜勤専従 ⇒問 22へ
- 4. 夜勤シフトには入っていない
- 5. その他 ()
- 6. わからない

※3:交代勤務には、24 時間を 2つのシフトに分ける「2交代制」や、3つのシフトに分ける「3交代制」がある。各シフトの長さがほぼ均一のタイプのほか、変則的なタイプ (夜勤時間 9～10 時間の変則 3交代制、夜勤時間 13～16 時間の変則 2交代制など) がある。

問 21.平成 29 年 6 月の①夜勤 (※4) ・②オンコールの当番日数を教えてください。なお、平成 29 年 6 月の途中で夜勤専従期間が開始または終了した方は、夜勤専従期間以外の回数を入力して下さい。(数字を記入)

① 夜勤	回	②オンコール	回
------	---	--------	---

アラート文: 6月の実施した回数です。30回を超えることはありません。

※4:夜勤とは法定労働時間内で夜間に勤務することを指しており、宿直 (電話の応対や巡回、非常事態に備えての待機など、ほとんど労働する必要のない勤務のこと) とは異なる。

(問 21で①に 1 以上の数値を入力した場合にのみ問 21-1 を表示)

問 21-1.あなたの平成 29 年 6 月の夜勤勤務について伺います。①平成 29 年 6 月の 1 か月間のおおよその総夜勤時間数、及び、問 20 で回答した主な勤務形態における夜勤の②勤務割上 (※5) の 1 回あたりの平均夜勤時間数と③実際の 1 回あたりの平均夜勤時間数 (夜勤を行った際の時間外労働時間を含む。) を教えてください。(数字で記入)

- ①1 か月間のおおよその総夜勤時間数 () 時間 () 分
- ②勤務割上 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分
うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分
- ③実際の 1 回の平均夜勤時間数 () 時間 () 分
うち、平均休憩・仮眠時間数 () 時間 () 分

※5:シフト表上や勤務計画表上のこと。

問 22.あなたの平成 29 年 6 月のある勤務日の勤務の開始から勤務の終了までの時間が最も長い時間 (職場に最も長くいた時間) について伺います。①勤務割上の最長拘束時間と②その時の実際の労働時間数 (休憩を除く) を教えてください。(数字を記入)

- ①最長拘束時間 約 () 時間 () 分
- ②①の実際の労働時間 (休憩を除く) 約 () 時間 () 分
- ①勤務割上の最長拘束時間の例:16時間

1日目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2日目	夜勤 (二交代制)	16時間																						

②最長実際の例:17時間 (勤務時間の休憩時間を除き、残業を加えた時間)

1日目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2日目	休憩	夜勤 (二交代制)	残業	17時間																				

問 23.あなたの平成 29 年 6 月のある勤務日の勤務 (時間外労働を含む。) の終了から次の勤務の開始までの間隔が最も短い時間について伺います。①平成 29 年 6 月の勤務割上の最短時間と②実際の最短時間を教えてください。(数字を記入)

- ①勤務割上の最短時間 約 () 時間 () 分
- ②実際の最短時間 約 () 時間 () 分
- ②実際の勤務の終了から開始までの最短時間の例:9時間

1日目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2日目																								

9時間

1日目																								
2日目																								

勤務

勤務

残業

問 23-1.あなたは、問 23 で回答したような短い間隔になることが、月にどのくらいありますか。

- (1 つ選択)
- 1.しばしばある
- 2.ときどきある
- 3.めったにない

<勤務環境等について伺います>

問 24.あなたは、今の勤務環境にどの程度満足していますか。(1 つ選択)

- 1.満足
- 2.どちらかというと満足
- 3.どちらかというと不満
- 4.不満

問 25.問 24 について、あなたがそう思う理由を教えてください。

()

問 26. あなたの現在の健康状態について教えてください。(1 つ選択)

- 1.健康である
- 2.どちらかというと健康である
- 3.どちらかというと健康ではない
- 4.健康でない

問 27. あなたは平成 28 年度に健康診断を受診しましたか。(1 つ選択)

- 1.受診した
- 2.受診しなかった

問 28. あなたは平成 28 年度にインフルエンザワクチンを接種しましたか。(1 つ選択)

- 1.接種した
- 2.接種しなかった

問 29. あなたのこの 1 か月間の睡眠の状況について教えてください。(1 つ選択)

- 1.睡眠は十分にできていた
- 2.睡眠は比較的とれていた
- 3.睡眠はあまりとれていなかった
- 4.睡眠は不足していた

※診療所勤務看護職はここで終了です。※問 30・問 31 は病院勤務者のみ

問 30.以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでおり、あなたが勤務環境改善の効果を感じている項目を教えてください。(いくつでも)

問 31. 問 30 の取組の中で、あなたの職場で取り組んでほしいと思う項目を教えてください。(いくつでも)

I 働き方・休み方改善

1) 労働時間管理

- 1.時間外労働時間の削減に取り組んでいる
 - 2.1 回当たりの最長勤務時間の削減に取り組んでいる
 - 3.年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している
 - 4.夜勤負担の軽減（夜勤明けの早帰りの推進、夜勤者の配置人数の見直し、夜勤回数制限、仮眠時間の確保等）を行っている
 - 5.夜勤専従者への配慮（夜勤の時間・回数の制限等）を行っている
 - 6.夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している
 - 7.労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている
 - 8.勤務間インターバル制度(※6)を導入している
- ※6：前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

2) 勤務負担軽減

- 9.補助職（医師事務作業補助者、看護補助者等）を配置している
- 10.正職員について多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など）を活用している
- 11.当直（宿直・日直）明けの勤務者に対する配慮を行っている（連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等）
- 12.夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実・改善している
- 13.チーム医療や多職種連携（業務分担・連携の強化等）により負担軽減を図っている
- 14.電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
- 15.勤務ソフトウェアを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる
- 16.その他の情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している
- 17.募集・採用を強化するための取組を実施している
- 18.地域の医療機関との連携（オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等）を推進している

II 職員の健康支援

- 19.職員に健康診断を受診するよう働きかけている
- 20.健康診断の事後措置（医療上の措置、就業上の措置、保健指導等）を実施している
- 21.職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる
- 22.職員のメンタルヘルス教育研修を実施している
- 23.「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルス対策の取組を行っている
- 24.長時間労働者に対する面接指導を実施している
- 25.職業感染（結核・インフルエンザ等）や呼吸器感染、HBV/HCV/HIV の針刺し切創対策、ワクチン等）に取り組んでいる

- 26.有害化学物質（抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等）のばく露予防に取り組んでいる
- 27.作業管理・作業環境対策（腰痛対策や眼精疲労対策等）に取り組んでいる
- 28.衛生委員会を設置し、毎月 1 回以上開催している
- 29.産業医を選任し、職員に周知している
- 30.衛生管理者（常時使用する職員が 10 名以上 50 人未満の場合は衛生推進者）を選任し、職員に周知している

Ⅲ 働きやすさ確保のための環境整備

- 1) 仕事と子育て・介護等の両立支援
 - 31.男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている
 - 32.法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している
 - 33.院内保育所や提携保育所等を整備している
 - 34.保育サービス（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している
 - 35.院内や近隣に学童保育を整備している
 - 36.学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている
 - 37.本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している
 - 38.介護短時間勤務制度を導入している
 - 39.法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している
 - 40.法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
- 41.子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度（短時間正職員制度、フレックスタイム制度、裁量労働制等。男性職員・女性職員ともに対象）を整備している
- 42.保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している
- 43.子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている
- 44.子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている
- 45.その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している

2) 職員のいじめ・ハラスメント等対策

- 46.職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している
- 47.職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている

3) 風土・環境整備

- 48.職員の働く満足度の調査を行っている
- 49.職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している
- 50.院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している（職員旅行、イベント等）
- 51.職員の地域活動への支援（ボランティア活動支援等）を実施している

- 4) 人材の定着化
 - 52.定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている
 - 53.複数主治医制を採用している

Ⅳ 働きがいの向上

- 1) キャリア形成支援
 - 54.施設外の研修への参加を支援している
 - 55.学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている
 - 56.正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援（研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等）が実施されている
 - 57.法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の視点から適切に実施されている
 - 58.専門資格の取得を支援する制度を設けている
- 2) 休業後のキャリア形成支援
 - 59.産休・育児復帰後のキャリア形成の支援（業務経験や研修等の機会の付与、産休・育児経験者による相談対応等）を行っている
 - 60.復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている
 - 61.産休・育児中の職員の円滑な復職の支援（e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等）を行っている

V. その他

- 62.患者満足度の調査を行っている
- 63.子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている
- 64.定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる
- 65.医師に対し、医師賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている
- 66.その他（ ）
- 67.該当するものがない

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

病院の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博 (公益財団法人大原記念労働科学研究所 所長)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業における当委員会では、病院の勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施しています。医療機関の勤務環境等に関して継続的に状況を把握し、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、今年度もすべての病院を対象に標記アンケート調査を実施します。本アンケート調査は、今後の医療勤務環境改善の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。また、本調査の結果を各都道府県の医療勤務環境改善支援センターでより具体的に活用できるようにする等の目的から、病院票については今年度から記名式とさせていただきます。

なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を願います。

敬具

《記入にあたってのお願い》

1. 貴院の勤務環境改善の取組状況等について把握している事務部門の担当者の方が記入してください。
2. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
3. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、**9月22日（金）までに郵便ポストに投函してください。**

■本調査に関する問合せ先

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 15F
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療政策支援部
担当：貝野瀬・岡田・川村
TEL：(リサーチ用) 0120-304-603 (平日 10：00～17：00)
FAX：03-3432-1837

◎貴院の医療機関コードと名称を教えてください。

医療機関コード									
名称									

問 1. 貴院の所在地を教えてください。(1 つに○)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道 | 11. 埼玉県 | 21. 岐阜県 | 31. 鳥取県 | 41. 佐賀県 |
| 2. 青森県 | 12. 千葉県 | 22. 静岡県 | 32. 島根県 | 42. 長崎県 |
| 3. 岩手県 | 13. 東京都 | 23. 愛知県 | 33. 岡山県 | 43. 熊本県 |
| 4. 宮城県 | 14. 神奈川県 | 24. 三重県 | 34. 広島県 | 44. 大分県 |
| 5. 秋田県 | 15. 新潟県 | 25. 滋賀県 | 35. 山口県 | 45. 宮崎県 |
| 6. 山形県 | 16. 富山県 | 26. 京都府 | 36. 徳島県 | 46. 鹿児島県 |
| 7. 福島県 | 17. 石川県 | 27. 大阪府 | 37. 香川県 | 47. 沖縄県 |
| 8. 茨城県 | 18. 福井県 | 28. 兵庫県 | 38. 愛媛県 | |
| 9. 栃木県 | 19. 山梨県 | 29. 奈良県 | 39. 高知県 | |
| 10. 群馬県 | 20. 長野県 | 30. 和歌山県 | 40. 福岡県 | |

問 2. 貴院がある市町村（特別区の場合は区）の規模を教えてください。(1 つに○)

1. 人口 50 万人以上の市 (区) (政令指定都市等)
2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市 (区) (中核市等)
3. 人口 10 万人以上 20 万人未満の市 (区)
4. 人口 10 万人未満の市 (区)
5. 町村

問 3. 貴院の開設主体を教えてください。(1 つに○)

1. 国等 (厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等 (都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関 (日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体 (健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他 (公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 4. 貴院の許可病床数を教えてください。(1 つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 20-99 床 | 3. 200-299 床 | 5. 400-499 床 |
| 2. 100-199 床 | 4. 300-399 床 | 6. 500 床以上 |

問 5. 貴院の最も多い病床を教えてください。(1 つに○)

- 1. 一般病床
- 2. 精神病床
- 3. 感染症病床
- 4. 結核病床
- 5. 療養病床

問 5-1. 貴院の最も多い病床の病床利用率 (小数点第 1 位まで) と平均在院日数を教えてください。(数字を記入)

(平成 28 年度) 病床利用率 . %
 平均在院日数 日
 (平成 29 年 6 月) 病床利用率 . %
 平均在院日数 日

問 5-2. 貴院における最も多い病床を有する医療機能を教えてください。(1 つに○)

- 1. 高度急性期
 - 2. 急性期
 - 3. 回復期
 - 4. 慢性期
- 問 6. 貴院が標榜している診療科目を教えてください。(○はいくつでも)
 1. 内科
 2. 外科
 3. 皮膚科
 4. アレルギー科
 5. リウマチ科
 6. 小児科
 7. 精神科
 8. 泌尿器科
 9. 整形外科・リハビリテーション科
 10. 眼科
 11. 耳鼻いんこう科
 12. 産科・婦人科・産婦人科
 13. 放射線科
 14. 麻酔科
 15. 病理診断科・臨床検査科
 16. 救急科
 17. 歯科
 18. その他

問 7. 平成 29 年 6 月 30 日現在の貴院の職員について伺います。

- ①職員数 (正規職員・非正規職員を含む)
 - ②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数 (※1)
 - ③①のうち、短時間勤務の正規職員数 (※2)
- を教えてください。(産休・育休・休職など稼働していない職員は除く。)(数字を記入)

	①職員数 (正規職員・非正規職員を含む)	②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数	③①のうち、短時間勤務の正規職員数
全体	() 人	() 人	() 人
うち、医師数	() 人	() 人	() 人
うち、看護職 (※3) 数	() 人	() 人	() 人

※1: フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数 (変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数) での勤務をいう (育児等による短時間勤務は除く。)

また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう (パート労働者等は除く。)

※2: 短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。

※3: 本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、看護士を指し、看護助手は含まれません。

問 8. 平成 28 年度の 1 年間に夜間勤務 (三交代の準夜勤・深夜勤、二交代の夜勤) を行わない期間が 1 か月以上あった看護職員数 (※4) を教えてください。

人

※4: 1 か月間に少数回でも夜勤を行っている、あるいは当直・オンコールを行っている看護職員は含みません。また、同一の看護職員が平成 28 年度の複数の期間に分けて、夜間勤務を行わなかった場合は 1 名として計算してください。

問 9. 平成 28 年度の 1 年間に貴院の正規看護職の離職率 (※5) を教えてください。(数字を記入)

離職率 . %

※5: 離職率 = 平成 28 年度退職者数 ÷ 平成 28 年度の平均職員数 × 100
 ただし、平均職員数 = (年度初めの在籍職員数 + 年度末の在籍職員数) ÷ 2

フルタイム勤務の正規職員について伺います

問 10. 貴院の就業規則等で定められたフルタイム勤務の医師及び看護職の週所定労働時間数 (変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数) を教えてください。(平成 29 年 6 月時点) (数字を記入)

(医師) 週 時間 分
 (看護職) 週 時間 分

夜勤専従看護師がいる場合
 (夜勤専従看護師) 週 時間 分

医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います

問 11. 貴院における、医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。(1 つに○)

- 1. 重要な課題である } ⇒ 問 11-1-1
- 2. やや重要な課題である } ⇒ 問 11-1-2
- 3. あまり重要な課題ではない } ⇒ 問 11-2-1
- 4. 重要な課題ではない } ⇒ 問 11-2-2

問 11-1. 問 11 で 1 又は 2 と回答した病院にお尋ねします。問 11 について、貴院がその

ように認識する理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 質の高い医療の提供、質の向上のため
- 2. 人材の確保・定着のため
- 3. 職員の業務負担軽減のため
- 4. 職員の健康やメンタルヘルスの維持・向上のため
- 5. 職員のワークライフバランス確保のため
- 6. 当然の義務であるため
- 7. その他 ()

問 11-2. 問 11 で 3 又は 4 と回答した病院にお尋ねします。問 11 について、貴院がその

ように認識する理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 現状で問題がないため
- 2. やや問題はあるが、喫緊の課題ではないため
- 3. 既に対策に取り組んでいるため
- 4. その他 ()

問 12. 貴院における、医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えてください。

(1つに○)

- 1. 職種を問わず取り組んでいる
- 2. 一部の職種で取り組んでいる (具体的な職種:)
- 3. あまり取り組んでいない } ⇒問 14 へ
- 4. 全く取り組んでいない }

問 13. 問 12 で 1 又は 2 と回答した病院にお尋ねします。(3 又は 4 と回答した人は問 14 へ)

貴院における医療従事者の勤務環境改善の具体的な取組様について教えてください。

(各項目について該当するものを 1 つに○)

(下記の 1～7 は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き (改訂版)」(平成 27 年 3 月)に記載している、マネジメントシステム導入の 7 つのステップに対応しています。)

	活 用 中 活用している	支 援 中 支援している	支 援 計 画 支援する計画	支 援 計 画 支援する計画	支 援 計 画 支援する計画	支 援 計 画 支援する計画
① 勤務環境改善の取組方針を表明して職員に周知している	1	2	3			
② 経営トップが主体的に関与して組織的に取り組んでいる	1	2	3			
③ 勤務環境改善のための推進体制 (委員会・プロジェクトチーム、専門部署・専任担当者等) を設置している	1	2	3			
④ 勤務環境の現状の把握・分析を行っている	1	2	3			
⑤ 勤務環境改善に向けた達成目標を設定している	1	2	3			
⑥ 勤務環境改善に向けた対策と行動計画 (アクションプラン) を策定している	1	2	3			
⑦ 取組の達成状況や成果を確認・評価し、目標や計画の見直し、取組方法の改善等につなげている	1	2	3			
⑧ その他 ()	1	2	3			

問 13-1. 問 13 の項目 5 に取り組んでいる病院にお伺いします。どのような目標を設定していますか。

- 1. 時間外労働時間の削減 (具体的に:)
- 2. 業務の負担軽減・効率化 (具体的に:)
- 3. 休暇取得率の向上 (具体的に:)
- 4. 離職率の低下 (具体的に:)
- 5. 職員満足度の向上
- 6. その他 ()

問 14. 問 12 で 3 又は 4 と回答した病院にお尋ねします。(1 又は 2 と回答した人は問 15 へ) 貴院が医療従事者の勤務環境改善にあまり又は全く取り組んでいない理由を教えてください。

- 1. 人員や時間に余裕がないため
2. 費用がかかるため
3. どのように取り組めばよいかわからないため
4. これから取組を始める段階であるため
5. 現在の勤務環境が整っており、取組む必要がないため
6. その他 ()
7. 特に理由はない

問 15. 以下に挙げる医療従事者の勤務環境改善に関する取組のうち、貴院で取り組んでいるもの、そのうち効果が高いと評価できる取組を教えてください。(〇はいくつでも)

(下記の選択肢は、「医療分野の『雇用の質』向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き(改訂版)」(平成 27 年 3 月)に記載している、医療機関の勤務環境の現状把握及び課題抽出のための確認項目を参考に作成しています。)

Table with 5 columns: 取組 (Initiative), 取り組んでいる (Being implemented), 高い効果が (Highly effective), 高い効果が (Highly effective), 高い効果が (Highly effective). Rows include 1. 勤務時間削減, 2. 1 回当たりの最長勤務時間の削減, 3. 年次有給休暇を... , 4. 夜勤負担の軽減, 5. 夜勤専従者への配慮, 6. 夜勤・交代制勤務の勤務間隔を適切に管理している, 7. 労働時間設定改善に関する労使間の話し合いの機会を設けている, 8. 勤務間インターバル制度, 9. 補助職(医師事務作業補助者、看護補助者等)を配置している, 10. 正職員について多様な勤務形態(短時間勤務、短日勤務、交代制勤務、フレックスタイム制など)を活用している, 11. 当直(宿直・日直)明けの勤務者に対する配慮を行っている(連続当直を行わない、当直明けに日勤を入れない等).

8. 「取り組んでいる」と回答した方は、インターバルの時間を記入してください。⇒ () 時間
9. 「取り組んでいる」と回答した方は、平成 29 年 6 月 30 日現在の補助職の人数を記入してください。⇒ 医師事務作業補助者 () 人、看護補助者 () 人

※6. 前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間に一定時間以上の休息を確保する制度

Table with 5 columns: 取組 (Initiative), 取り組んでいる (Being implemented), 高い効果が (Highly effective), 高い効果が (Highly effective), 高い効果が (Highly effective). Rows include 12. 夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇を充実に改善している, 13. チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化等)により負担軽減を図っている, 14. 電子カルテを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる, 15. 勤務ソフト作成ソフトを活用した業務効率化・省力化に取り組んでいる, 16. その他の情報通信機器を活用した業務効率化・省力化を推進している, 17. 募集・採用を強化するための取組を実施している, 18. 地域の医療機関との連携(オープンシステム、地域連携クリティカルパス、外来機能の分担等)を推進している

II 職員の健康支援

Table with 5 columns: 取組 (Initiative), 取り組んでいる (Being implemented), 高い効果が (Highly effective), 高い効果が (Highly effective), 高い効果が (Highly effective). Rows include 19. 職員に健康診断を受診するよう働きかけている, 20. 健康診断の事後措置(医療上の措置、就業上の措置、保健指導等)を実施している, 21. 職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)に取り組んでいる, 22. 職員のメンタルヘルズ教育研修を実施している, 23. 「心の健康づくり計画」を策定し、組織的・計画的にメンタルヘルズ対策の取組を行っている, 24. 長時間労働者に対する面接指導を実施している, 25. 職業感染(結核・インフルエンザ等)呼吸器感染、HBV/HCV/HIV の針刺し切創対策、ワクチン等)に取り組んでいる, 26. 有害化学物質(抗がん剤、エチレンオキシド、キシレン、ホルムアルデヒドの取扱い等)のばく露予防に取り組んでいる, 27. 作業管理・作業環境対策(腰痛対策や眼精疲労対策等)に取り組んでいる, 28. 衛生委員会を設置し、毎月 1 回以上開催している, 29. 産業医を選任し、職員に周知している, 30. 衛生管理者(常時使用する職員が 10 名以上 50 名未満の場合は衛生推進者)を選任し、職員に周知している

Ⅲ 働きやすさ確保のための環境整備

取組	で取り組む	高い効果が
1. 男性職員に育児休業を取得するよう積極的に働きかけている	1	2
2. 法定以上の育児休業制度、子の看護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
3. 院内保育所や提携保育所等を整備している	1	2
34. 保育サービス（病児保育や夜間預かり保育等）を実施している	1	2
35. 院内や近隣に学童保育を整備している	1	2
36. 学童期の子どもを有する職員に対する支援制度を設けている	1	2
37. 本人の希望に応じて、子育て中の医師の当直を免除している	1	2
38. 介護短時間勤務制度を導入している	1	2
39. 法定以上の介護休業制度、介護休暇制度（男性職員・女性職員ともに対象）を導入している	1	2
40. 法定以上の子育て・介護中の職員に対する夜勤・時間外労働免除（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2
41. 子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している	1	2
42. 保育・介護サービス利用料の補助制度（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2
43. 子育て・介護その他の事情により退職した職員に対する再雇用の制度を設けている	1	2
44. 子育て・介護を含む生活面との両立支援・ワークライフバランスに関する相談窓口の設置や専門スタッフの配置を行っている	1	2
45. その他の子育て・介護との両立支援の制度・取組（男性職員・女性職員ともに対象）を実施している	1	2

31.で「取り組んでいる」と回答した方は、平成 28 年度に育児休業を取得した男性職員がいたかどうか教えてください。(1つに○)
 ⇒ 1.いた 2.いなかった 3.わからない

41.で「取り組んでいる」と回答した方は整備している制度を教えてください(○はいくつでも)
 ⇒ 1.短時間勤務 2.短日勤務 3.交代制勤務 4.フレックスタイム制
 5.その他 ()

45.で「取り組んでいる」と回答した方は、具体的にどのような制度・取組が教えてください。
 ⇒ (具体的に:)

46. 職員へのいじめ・ハラスメントや患者等からの暴言・暴力・クレームへの対応窓口を設置している	1	2
47. 職員へのいじめ・ハラスメント対策や患者等からの暴言・暴力・クレームへの対策に関する研修や、当該研修への職員参加の支援を行っている	1	2
48. 職員の働く満足度の調査を行っている	1	2
49. 職員向けに、院内に仮眠室や休憩室等を整備している	1	2
50. 院内での職員のコミュニケーションの機会を設定・拡充している(職員旅行、イベント等)	1	2
51. 職員の地域活動への支援(ボランティア活動支援等)を実施している	1	2
52. 定期的な面談等により職員が抱える事情や希望を把握し、可能な限りこれらを尊重した配置や業務面の配慮を行い、定着を図っている	1	2
53. 複数主治医制を採用している	1	2

Ⅳ 働きがいの向上

取組	で取り組む	高い効果が
54. 施設外の研修への参加を支援している	1	2
55. 学会への参加者に対し、勤務を免除する、通常勤務の時間を短くするなどの措置をとっている	1	2
56. 正規・非正規を問わずすべての職員のキャリア形成支援(研修等に関する情報提供や研修等への職員参加の支援、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の設置や情報提供等)が実施されている	1	2
57. 法人内での人事ローテーションが、キャリア形成支援の観点から適切に実施されている	1	2
58. 専門資格の取得を支援する制度を設けている	1	2
59. 産休・育休復帰後のキャリア形成の支援(業務経験や研修等の機会の付与、産休・育休経験者による相談対応等)を行っている	1	2
60. 復職者が利用できる短時間正職員制度や有期契約職員制度が導入されている	1	2
61. 産休・育休中の職員の円滑な復職の支援(e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等)を行っている	1	2

1. キャリア形成支援

2. 産休・育休後のキャリア形成支援

V. その他

取組	で取り い る 組 ん	高 効 果 が
62. 患者満足度の調査を行っている	1	2
63. 子育て等により配慮を受ける職員とその他の職員の公平感に留意した適切な業務分担や処遇となっている	1	2
64. 定年退職者の再雇用に積極的に取り組んでいる	1	2
65. 医師に対し、医師賠償保険に加入するよう積極的に働きかけている	1	2
66. その他()	1	2

上記に該当するものがなければ、問 16 に進んでください。

問 15-1. 問 15 で 1 つでも「効果が高い」と回答した病院にお尋ねします。(「効果が低い」と回答しなかった病院は問 16 へ) 問 15 で回答した勤務環境改善の取組の効果を、どのような経営上のメリットを感じていますか。(〇はいくつでも)

1. 離職率が低下した
2. 人材が確保しやすくなった
3. 職員の時間外労働が減少した
4. 職員の満足度が向上した
5. 職員の休暇取得率が向上した
6. インシデントやアクシデントが減少した/医療安全が改善・向上した
7. 患者の満足度が向上した/患者のクレームが減少した
8. 治療結果が向上した/死亡率や再入院率が減少した
9. 患者の受入れ人数が増加した
10. 手術件数が増加した
11. 病床の稼働率が向上した
12. 診療報酬の加算の算定ができるようになった
13. 経営指標が改善した (具体的に:)
14. その他 ()
15. 経営上のメリットは感じていない

問 16. 貴院では、女性活躍や子育てサポート等に関する認定や表彰を受けたり、宣言を行ったりしていますか。もしくは認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいますか。(各項目について該当するものを 1 つ選択)

	認定・表彰・宣言等を受けている、行っている	認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいる	認定・表彰・宣言等に向けて取り組んでいない
1. くるみん認定 (※7)	1	2	3
2. えるぼし認定 (※8)	1	2	3
3. イクボス宣言 (※9)	1	2	3

※7:「くるみん」とは、行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業を、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣が認定する制度。くるみん認定企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が一定の要件を満たした場合、優良な「子育てサポート企業」として特別認定(プラチナくるみん認定)を受けられる。

※8:「えるぼし」とは、行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況等が優良な企業を厚生労働大臣が認定する制度。

※9:「イクボス」とは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指す。

【認定マーク】	くるみん	えるぼし
		
(くるみん)	プラチナくるみん	(1段階目)
		(2段階目)
		(3段階目)

問 16-1. そのほかに、国や自治体等の公的機関からワークライフバランスに関する認定や表彰を受けたことがあれば、いつごろ、どのような認定や表彰を受けたかを教えてください。

労務管理等について伺います

問 17. 貴院では、正規職員である短時間勤務の医師も当直（宿直・日直）を行っていますか。(1つに○)

(1つに○)

- 1. 当直（宿直・日直）を行っている
- 2. 宿直は行っていないが、日直は行っている
- 3. 日直は行っていないが、宿直は行っている
- 4. 当直（宿直・日直）は行っていない
- 5. 正規職員である短時間勤務の医師はいない

問 18. 貴院では、正規職員である短時間勤務の看護職も夜勤を行っていますか。(1つに○)

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

「いきサポ」について伺います

問 19. あなたは、「いきサポ」(※10) をご存じでしたか。(1つに○)

- 1. 知っており、閲覧したことがある ⇒問 19-1 へ
- 2. 知っているが、閲覧したことはない ⇒問 19-4 へ
- 3. この調査票で知った（今まで知らなかった） ⇒問 20 へ

※10：「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」(いきサポ) のことです。

問 19-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。(1つに○)

- 1. 非常に参考になる
- 2. 参考になる
- 3. あまり参考にならない
- 4. まったく参考にならない } ⇒問 19-3 へ

問 19-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。(○はいいくつでも)

- 1. 「検索ワードランキング」
- 2. 「参考にされた」取組事例・提案
- 3. 「取組事例・提案の紹介」
- 4. 「資料のダウンロード」
- 5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
- 6. 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
- 7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
- 8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
- 9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
- 10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
- 11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
- 12. その他 ()

問 19-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。

問 19-4. あなたは、「いきサポ」を何からお知りになりましたか。(○はいいくつでも)

- 1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
- 2. 都道府県労働局からの紹介
- 3. 厚生労働省のホームページを見て
- 4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
- 5. 同僚・知人などからの口コミ
- 6. その他 ()

問 20. 「いきサボ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載して、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴院の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサボ」でご紹介してもよろしいでしょうか。(1つに○)

1. 紹介してもよい
2. 紹介することを検討したい
3. 紹介したくない

本事業受託者(株)日本能率協会総合研究所)担当者より、「いきサボ」へのご出稿についてご連絡させていただきます。
下記に、ご担当者のご連絡先をご記入ください。なお、いただいた個人情報については、「いきサボ」への出稿依頼以外には使用いたしません。

ご所属
お名前
お電話番号
メールアドレス

医療勤務環境改善支援センターについて伺います

問 21. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※11)について、ご存じですか。

(1つに○)

- 1. すでに利用したことがある
- 2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
- 3. 利用したことはないが、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
- 4. 知らない

※11:「医療勤務環境改善支援センター」は、平成26年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に順次設置されています。

問 22. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。

(1つに○)

- 1. 利用したい
- 2. 利用することを検討したい
- 3. 今のところ利用は考えていない

問 23. 問 22 について、そう考える理由を教えてください。

問 24. 医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、本アンケートの病院ごとの回答内容を医療勤務環境改善支援センターへ提供する予定となっておりますが、提供不可の場合は右の□にチェックをつけてください。なお、回答内容については労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

有床診療所の勤務環境に関するアンケート調査

厚生労働省委託事業「医療勤務環境改善マネジメントシステムに基づく医療機関の取組に対する支援の充実を図るための調査・研究」検討委員会
委員長 酒井 一博 (公益財団法人大原記念労働科学研究所 所長)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 26 年の医療法改正により、各医療機関では医療従事者の勤務環境の改善に取り組むことが努力義務とされました。厚生労働省では、医療従事者の皆様が健康で安心して働けるよう、その勤務環境の改善に取り組む医療機関を支援しています。

その一環として、厚生労働省委託事業における当委員会では、病院を対象に勤務環境改善の取組状況や勤務実態のアンケート調査を実施しています。今年度は、医療機関の勤務環境等に関して状況を把握し、医療従事者の勤務環境改善の更なる推進方策等の検討に資するため、すべての有床診療所を対象にアンケート調査を実施することとしました。本アンケート調査は、今後の医療勤務環境改善の施策の方向性の検討等に活用される大変重要なものです。

なお、回答内容については、統計処理の上、公表や都道府県等への情報提供を予定していませんが、アンケートは無記名であり、回答者が特定されたり、診療所ごとの回答を個別に公表することや、労働基準監督署が行う監督指導等に使用されることは一切ありません。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

敬具

《記入にあたってのお願い》

1. 院長または貴診療所の勤務環境改善の取組状況等について把握している事務部門の担当者の方が記入してください。
2. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入するものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
3. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、**9月22日（金）までに** 郵便ポストに投入してください。

■本調査に関する問合せ先

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル15F
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療政策支援部
担当：貝野瀬・岡田・川村
TEL：(03-3434-1100) 0120-304-603 (平日 10:00～17:00)
FAX：03-3432-1837

問 1. 貴診療所の所在地を教えてください。(1つに○)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 北海道 | 11. 埼玉県 | 21. 岐阜県 | 31. 鳥取県 | 41. 佐賀県 |
| 2. 青森県 | 12. 千葉県 | 22. 静岡県 | 32. 島根県 | 42. 長崎県 |
| 3. 岩手県 | 13. 東京都 | 23. 愛知県 | 33. 岡山県 | 43. 熊本県 |
| 4. 宮城県 | 14. 神奈川県 | 24. 三重県 | 34. 広島県 | 44. 大分県 |
| 5. 秋田県 | 15. 新潟県 | 25. 滋賀県 | 35. 山口県 | 45. 宮崎県 |
| 6. 山形県 | 16. 富山県 | 26. 京都府 | 36. 徳島県 | 46. 鹿児島県 |
| 7. 福島県 | 17. 石川県 | 27. 大阪府 | 37. 香川県 | 47. 沖縄県 |
| 8. 茨城県 | 18. 福井県 | 28. 兵庫県 | 38. 愛媛県 | |
| 9. 栃木県 | 19. 山梨県 | 29. 奈良県 | 39. 高知県 | |
| 10. 群馬県 | 20. 長野県 | 30. 和歌山県 | 40. 福岡県 | |

問 2. 貴診療所がある市町村 (特別区の場合は区) の規模を教えてください。(1つに○)

1. 人口 50 万人以上の市 (区) (政令指定都市等)
2. 人口 20 万人以上 50 万人未満の市 (区) (中核市等)
3. 人口 10 万人以上 20 万人未満の市 (区)
4. 人口 10 万人未満の市 (区)
5. 町村

問 3. 貴診療所の開設主体を教えてください。(1つに○)

1. 国等 (厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国の機関))
2. 地方公共団体等 (都道府県、市町村、地方独立行政法人)
3. 公的医療機関 (日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)
4. 社会保険関係団体 (健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)
5. 医療法人
6. 個人
7. その他 (公益法人、私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人)

問 4. 貴診療所の許可病床数を教えてください。(数字を記入)

許可病床数 床

問 5. 貴診療所の最も多い病床を教えてください。(1つに○)

1. 一般病床
2. 療養病床

問 5-1.貴診療所の最も多い病床の病床利用率（小数点第 1 位まで）と平均在院日数を教えてください。（数字を記入）

〈平成 28 年度〉	病床利用率	<input type="text"/> . <input type="text"/> %
	平均在院日数	<input type="text"/> 日
〈平成 29 年 6 月〉	病床利用率	<input type="text"/> . <input type="text"/> %
	平均在院日数	<input type="text"/> 日

問 6.貴診療所が標榜している診療科目を教えてください。（○はいくつでも）

- | | | | |
|----------|-------------------|----------------|--------|
| 1.内科 | 6.小児科 | 11.耳鼻いんこう科 | 16.救急科 |
| 2.外科 | 7.精神科 | 12.産科・婦人科・産婦人科 | 17.歯科 |
| 3.皮膚科 | 8.泌尿器科 | 13.放射線科 | 18.その他 |
| 4.アレルギー科 | 9.整形外科・リハビリテーション科 | 14.麻酔科 | |
| 5.リウマチ科 | 10.眼科 | 15.病理診断科・臨床検査科 | |

問 7.平成 29 年 6 月 30 日現在の貴診療所の職員について伺います。

- ①職員数（正規職員・非正規職員を含む）
 - ②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数（※1）
 - ③①のうち、短時間勤務の正規職員数（※2）
- を教えてください。（産休・育休・体職など稼働していない職員は除く。）（数字を記入）

	①職員数（正規職員・非正規職員を含む）	②①のうち、フルタイム勤務の正規職員数	③①のうち、短時間勤務の正規職員数
全体	() 人	() 人	() 人
うち、医師数	() 人	() 人	() 人
うち、看護職（※3）数	() 人	() 人	() 人

※1：フルタイム勤務とは、就業規則等で定められた週所定労働時間数（変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数）での勤務をいう（育児等による短時間勤務は除く。）。

また、正規職員とは、雇用期間の定めがないものをいう（パート労働者等は除く。）。

※2：短時間勤務とは、フルタイム勤務と比較して、短い週所定労働時間での勤務をいう。
※3：本調査での看護職とは、保健師、助産師、看護師、看護助手を含みません。

問 8.平成 28 年度の 1 年間における貴診療所の正規看護職の離職率（※4）を教えてください。（数字を記入）

離職率 . %

※4 離職率=平成 28 年度退職者数÷平成 28 年度の平均職員数×100

ただし、平均職員数=(年度初めの在籍職員数+年度末の在籍職員数)÷2

以下、フルタイム勤務の正規職員について伺います

※院長は含みません。フルタイム勤務の医師が院長のみである場合は、医師の解答欄は空白のまま結構です。

問 9.貴診療所の就業規則等で定められたフルタイム勤務の医師及び看護職の週所定労働時間数（変形労働時間制の場合は、単位期間における週当たりの平均労働時間数）を教えてください。（平成 29 年 6 月時点）（数字を記入）

〈医師〉	週	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分
〈看護職〉	週	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分

問 10.労働時間の管理方法を教えてください。（○はいくつでも）

- 1.タイムレコーダー・タイムカード
- 2.IC カード
- 3.出勤簿・管理簿
- 4.その他 ()
- 5.労働時間を管理していない

問 11.時間外労働の把握の方法について教えてください。（○はいくつでも）

- 1.自己申告により把握している
- 2.上司からの命令（事前または事後）で申告させることにより把握している
- 3.その他 ()

問 12.フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の月平均時間外労働時間数を教えてください。（数字を記入）

〈平成 28 年度〉	医師	月平均	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分
	看護職	月平均	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分
〈平成 29 年 6 月〉	医師	月平均	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分
	看護職	月平均	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 分

問 13.フルタイム勤務正規職員の時間外労働手当について伺います。時間外労働時間に対し、時間外労働手当を支払っていますか。(〇はいくつでも)

- 1.タイムレコーダー・タイムカード・ICカードの通りに支払っている (制限なし)
- 2.申告時間通りに支払っている (制限なし)
- 3.上限時間が決められている職員に対しては、それを上回る時間については支払っていない
- 4.上司が時間外労働を認めたとき以外は支払っていない
- 5.年俸制の職員の時間外労働手当は年俸に含めている
- 6.時間外労働時間については支払っていない
- 7.その他 ()

問 14.フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 29 年 6 月の勤務割における最長連続勤務時間(当直は含まない)とその他の休憩時間を教えてください。(数字を記入)

〈医師〉	最長	時間	<input type="text"/>	分	<input type="text"/>
	うち、休憩	時間	<input type="text"/>	分	<input type="text"/>
〈看護職〉	最長	時間	<input type="text"/>	分	<input type="text"/>
	うち、休憩	時間	<input type="text"/>	分	<input type="text"/>

〈看護師例〉最長拘束時間の例：勤務割上16時間

1日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2日	夜勤 (二交代制)																夜勤 (二交代制)							

16 時間

問 15.フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の平成 29 年 6 月の勤務割における当日の勤務終了から次の勤務開始までの間隔が最も短い時間を教えてください。(数字を記入)

〈医師〉	最短	時間	<input type="text"/>	分	<input type="text"/>
	最短	時間	<input type="text"/>	分	<input type="text"/>

〈看護師例〉最長の例：連続夜勤 8 時間

1日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
2日	夜勤 (二交代制)																夜勤 (二交代制)							

8 時間

休日・休暇について伺います

※院長は含まれません。フルタイム勤務の医師が院長のみである場合は、医師の解答欄は空白のままです。

問 16.平成 28 年度の年間所定休日数 (※5) を教えてください。(数字を記入)

年 月 日

※5：就業規則に定める職員の所定の休日の合計 (年次有給休暇や慶弔休暇は含めない)

問 17.フルタイム勤務正規職員の医師及び看護職の、平成 28 年度の年次有給休暇取得率 (※6) を教えてください。(数字を記入) (小数点第 1 位まで)

〈医師〉 . %

〈看護職〉 . %

※6：年次有給休暇取得率 (%) = 取得日数/各人の付与日数 (前年度からの繰越分を含めない) × 100

医療従事者の勤務環境改善の取組について伺います

問 18.貴診療所における、医療従事者の勤務環境改善に関する現状認識として、当てはまるものを教えてください。(1つに〇)

- 1.重要な課題である } ⇒問 18-1 へ
- 2.やや重要な課題である } ⇒問 18-2 へ
- 3.あまり重要な課題ではない } ⇒問 18-2 へ
- 4.重要な課題ではない

問 18-1. 問 18 で 1 又は 2 と回答した診療所にお尋ねします。問 18 について、貴診療所がどのように認識する理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- 1.質の高い医療の提供、質の向上のため
- 2.人材の確保・定着のため
- 3.職員の業務負担軽減のため
- 4.職員の健康やメンタルヘルスの維持・向上のため
- 5.職員のワークライフバランス確保のため
- 6.当然の義務であるため
- 7.その他 ()

問 18-2. 問 18 で 3 又は 4 と回答した診療所にお尋ねします。問 18 について、貴診療所
がそのように認識する理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 現状で問題がないため
2. やや問題はあるが、喫緊の課題ではないため
3. 既に対策に取り組んでいるため
4. その他 ()

問 19. 貴診療所における、医療従事者の勤務環境改善に関する取組状況について教えてください。(○はいくつでも)

1. 取り組んでいる (具体的に:)
2. 取り組んでいない

労務管理等について伺います

問 20. 貴診療所では雇用契約書又は労働条件通知書を職員に渡していますか。(1つに○)

1. 渡している
2. 渡していない

問 21. 貴診療所では就業規則を職員に周知していますか。(1つに○)

1. 周知している
2. 特に周知していない
3. 就業規則は作成していない

問 22. 時間外・休日労働に関する労使協定 (36 協定) の締結 (※7) について伺います。労
働基準監督署に対し、どのような届け出を行っていますか。(1つに○)

1. 特別条項 (※8) なしの 36 協定を届け出ている
2. 特別条項を定めた 36 協定を届け出ている
3. 36 協定を締結していない

※7: 時間外・休日労働に関する協定で、労働基準法第 36 条に定めがあることから一般に 36 (サブロク) 協定といわれている。

※8: 特別条項とは、「労働基準法第三十六条第一項の協定で定める労働時間の延長の限度等に関する基準 (平成 10 年労働省告示第 154 号)」第 3 条ただし書に基づき限度時間を超える時間外労働の定めをいう。

「いきサポ」について伺います

問 23. あなたは、「いきサポ」(※9) をご存じでしたか。(1つに○)

1. 知っており、閲覧したことがある ⇒問 23-1 へ
2. 知っているが、閲覧したことはない ⇒問 23-4 へ
3. この調査票で知った (今まで知らなかった) ⇒問 24 へ

※9: 「いきサポ」とは、医療機関の管理者などを対象に、国や都道府県などによる施策や事業などの紹介、医療機関の取組事例の紹介など、医療従事者の勤務環境の改善に役立つ情報を提供するサイト「いきいき働く医療機関サポートWeb」(いきサポ) のことです。

問 23-1. 「いきサポ」をご覧になったご感想をお聞かせください。(1つに○)

1. 非常に参考になる
 2. 参考になる
 3. あまり参考にならない
 4. まったく参考にならない
- ⇒問 23-3 へ

問 23-2. 「いきサポ」で参考になるページ・情報を教えてください。(○はいくつでも)

1. 「検索ワードランキング」
2. 「『参考された』取組事例・提案」
3. 「取組事例・提案の紹介」
4. 「資料のダウンロード」
5. 「FAQ ～よくある問合せ～」
6. 「役に立つ情報」の「国の施策情報」
7. 「役に立つ情報」の「各種通知・審議会等」
8. 「役に立つ情報」の「関係団体による取組」
9. 「役に立つ情報」の「イベント開催案内および開催報告について」
10. 「役に立つ情報」の「各都道府県における取組」
11. 「役に立つ情報」の「各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」
12. その他 ()

問 23-3. 「いきサポ」で充実してほしい情報があれば教えてください。

問 23-4. あなたは、「いきサポ」を何からお知りになりましたか。(○はいくつでも)

1. 都道府県庁又は医療勤務環境改善支援センターの紹介
2. 都道府県労働局からの紹介
3. 厚生労働省のホームページを見て
4. 医療関係の新聞・雑誌、ウェブサイト、メールマガジンなどを見て
5. 同僚・知人などからの口コミ
6. その他 ()

問 24. 「いきサポ」では、医療機関の勤務環境改善の取組を掲載して、勤務環境改善に取り組んでいることを広報することができます。貴診療所の取組で勤務環境改善の効果が高いものを「いきサポ」でご紹介してもよろしいでしょうか。(1つに○)

1. 紹介してもよい
2. 紹介することを検討したい
3. 紹介したくない

本事業受託者(㈱日本能率協会総合研究所)担当者より、「いきサポ」へのご出稿についてご連絡させていただきます。下記に、ご担当者のご連絡先をご記入ください。なお、いただいた個人情報については、「いきサポ」への出稿依頼以外には使用いたしません。

貴診療所名	
ご住所	(〒 -)
ご役職	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	

医療勤務環境改善支援センターについて伺います

問 25. あなたは、「医療勤務環境改善支援センター」(※10)について、ご存じですか。(1つに○)

1. すでに利用したことがある
2. 利用したことはないが、活動内容を知っている
3. 利用したことはないが、活動内容も知らないが、名前は聞いたことがある
4. 知らない

※10：「医療勤務環境改善支援センター」は、平成 26 年に改正された医療法の規定に基づき、医療従事者の勤務環境改善に向けた医療機関の取組を総合的・専門的に支援するための機関で、各都道府県に順次設置されています。

問 26. 今後の「医療勤務環境改善支援センター」の利用についての意向を教えてください。(1つに○)

1. 利用したい
2. 利用することを検討したい
3. 今のところ利用は考えていない

問 27. 問 26 について、そう考える理由を教えてください。

--

勤務環境改善モデル事業への参加のご案内

問 28. この厚生労働省委託事業では、医療機関を対象として勤務環境改善に取り組みモデル事業を実施します。モデル事業の概要は次頁のとおりです。

「医療勤務環境改善マネジメントシステム」を活用して勤務環境改善に取り組んでみたい、あるいはこれまでの取組を充実・強化したいとお考えの医療機関の皆様、この機会にこのモデル事業に参加してみませんか。(1つに○)

1. 参加してみたい・参加を検討したい
2. 関心はある・話を聞いてみたい
3. 関心はない・参加するつもりはない

本事業受託者(㈱日本能率協会総合研究所)担当者より、モデル事業についてご連絡させていただきます。下記に、貴診療所のご担当者のご連絡先をご記入ください。なお、いただいた個人情報については、モデル事業に関するご連絡以外には使用いたしません。

貴診療所名	
ご住所	(〒 -)
ご役職	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	

医療勤務環境改善モデル事業とは？

平成 26 年 10 月に施行された改正医療法では、医療機関の管理者は医療従事者の勤務環境の改善その他の医療従事者の確保に資する措置を講ずるよう努めなければならないこととされました。国では、各医療機関が勤務環境改善に適切・有効に取り組めるよう、「医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針」を定めるとともに、医療勤務環境改善マネジメントシステム（以下「マネジメントシステム」といいます。）を導入するための手引書を作成して、PDCA サイクルを通じた体系的・継続的な勤務環境改善の取組の促進を図っています。

本調査研究委託事業では、有床診療所においてもこれらの取組が進むよう検討するため、各都道府県の医療勤務環境改善支援センター（以下「支援センター」といいます。）との連携・協力の下、勤務環境改善に取り組んでいきたい、あるいは取組をより充実・強化していきたいとお考えの医療機関に対し、マネジメントシステムを活用した勤務環境改善の取組をお手伝い・支援するモデル事業を実施します。

モデル事業は、ご協力いただける医療機関（全国で 5 か所程度までを想定）に対して、以下により実施し、協力医療機関における取組の成果や課題等を確認するとともに、マネジメントシステムのよりよい活用方法について検証を行います。

実施内容は以下のとおりです。

支援方法	協力医療機関への訪問及び通信（メール、電話等）により、勤務環境改善やマネジメントシステムに関するアドバイスや情報提供を行います。また、取組の進捗状況や課題等について聴取します。
支援時期	1 協力医療機関につき本調査研究事業の受託者である株式会社日本能率協会総合研究所のコンサルタントが 2～3 回程度訪問します。また、メール、電話等による連絡・支援を行うこともあります。この他、適宜、地元の支援センターの支援、相談等も活用します。 <スケジュールの目安：訪問時期等の詳細は個別にご相談します。> 初回支援・聴取：平成 29 年 10 月頃 中間支援・聴取：平成 29 年 12 月頃 最終支援・聴取：平成 30 年 2 月頃
支援内容	・マネジメントシステムの手引書等の必要資料の提供 ・マネジメントシステムの手引書や手引書所収の支援ツールの活用方法等についての相談、アドバイス ・他の医療機関における取組事例の紹介・情報提供 ・支援センター等関係機関との連絡調整等 ※ 本調査研究事業の検討に活用させていただいたため、貴診療所の概況等の基礎情報、本モデル事業の実施を通じた勤務環境改善の取組の進捗状況や成果・課題等についても伺いさせていただきます。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございます。